

爆たり  
四中  
学校たより

# めがきあう

2回目

4月25日(金)




こんなことが  
できる人に...



先日、朝から正門の前で落ち葉を  
はわいていた時に、小学生の登校班  
が通りすぎたので「おはようございます。」

とあいさつをしたところ、ほとんどの子があいさつを返して

くれたのですが、その中の一人の男の子があいさつを返してくれませんでした。すると、その時  
登校班のリーダー？の女の子が振り返ってその子の前に行き、「あいさつは？聞こえ  
るようにせんね!」と諭してあいさつをするように促したのです。すごい  
と思いませんか？普段から、自分がしっかりと意識して、あいさつをしてなければ、そう  
いった行動をとるにはできませんよ！小学生だけど私が教えられましたね。  
これが本当の教育であり、つけたと思います。私には、その女の子がとても大きく  
見えました。また、あいさつといえば、四中生は笑顔であいさつしてくれる人をよく  
見ます。これっていいですね!!お互いが笑顔になれます。昔、縁のあった方が書かれた  
本に『鏡は先に笑いません』とありましたが、その通りです。自分から笑うことが  
大切です。1年生の八田さんなんかは、校門でのあいさつの時、PTA会長が「いっ  
て、いっ!」と声をかけると、笑顔に加えて「ありがとうございます。」  
と返してくれました。朝からとてもいい気持ちにさせてもらってます。

次に、ほこりとした1年生のシーンを紹介しますね。まずは教科書配布の時  
です。1年生は西配布教科書が94C、みなでえっちらおっちら運んでいたのですが、  
今村さんが2回目を取りに行っていたんです。1人1回運べばよかったのですが、

おそく彼がとりに行った時にはまだたくさん残っていたのでよね。だから、もう一度  
と思て行ったのですが、無駄足だったみたいで、ちぶらで教室に戻っていました。  
しかし、たとえ無駄足だったとしても、状況を見て周りのために動くことが  
できる、いいことですね。また、同じ時に、一人の女子がたくさん抱えて四苦八苦していた  
ところに、今井さんが「ちょうどそこに出くわして、さりげなく上半分まで運んで行ってくれて  
いました。これも、自分が何をしたらいいかを判断して、それを行動に移せ  
ていて、見ていてほほえましいワンシーンでした。これには、歓迎遠足でのこと。2年生の  
女子が弁当のおはしを忘れてまいました。そこで困っていた時に、1年生の芦塚さんが  
おはしを余分に持ってきていたのですが、恥ずかしかったのか言い出せなかったところ、  
横にいた山口さんが2年生に「芦塚さんが持ってきて、余分にありますよ」と代わりに渡して  
いました。準備は万端だけど、恥ずかしがり屋の芦塚さんと、元気で世話好きな  
山口さんの見事な連携プレーに、ほこりとした雰囲気を味わえました。

いたるところで、このような、周りのために動ける場面がふえていけば、  
みんなが安心して楽しめる四中になっていくのでしょうか??

自分を振りかえってみてください。周りの人に文句を言っている嫌な自分に  
なっていないか?損得勘定のみで動いて、きついことや嫌なことを人におしつけて逃げて  
いると、周りから敬遠されるような人になってしまいますよ。お互いがけなし合ったり、傷つ  
いたりしない、ほこりとした空間をつくり上げるように、心の余裕をもって生活できる  
といいですね!! この半月ほどの四中の生活風景でした。

学校からのお願いです!

朝や放課後、病気やケガ、家庭の事情などで車の送迎が必要な場合は、  
必ず校門から車をのり入れて、植込込みのロータリーの所で生徒の乗降りを  
お願いします。学校前のファミリーマートの駐車場での送迎は迷惑となります  
ので、よろしくお願いいたします。

返信よろしく  
お願いいたします。  
QRコード

